



この先10年のまちづくり 都市計画 マスタープランを改定

少子化・超高齢社会の進展など社会経済状況の変化や、まちづくりに関わる法令・計画などの整合を図るため、約3か年をかけて、「小平市都市計画マスタープラン」を見直しました。小平市都市計画マスタープランは、市政資料コーナー（市役所1階）、小平市ホームページでご覧になれます。

なお、冊子の販売は、5月中旬を予定しています。

問合せ 都市計画課 ☎042(346)9554

都市計画って

まちでは、多くの人々が日々の生活を営んでいます。そのまちを安心して、快適に暮らせるようにするには、土地の利用に関するルールが必要です。また、生活に必要な道路や公園などの施設を整備することも重要です。このような都市づくりに向けた一定のルールや施設の整備計画を都市計画といえます。



都市計画マスタープランとは

都市計画法に基づいて策定するもので、主に都市計画の視点から、まちの将来像や目標、地域のまちづくりの方針などを示す計画です。これにより市民や事業者と市が都市の将来イメージを共有してまちづくりを進めることができます。そのため、多くの市民の意見を伺いながら「小平市都市計画マスタープラン」の見直しを行ってきました。



マスタープランの全体構想

まちの将来像

みどりつながる快適生活都市 こだいら

誰もが快適さを感じられるまち

小平らしさが受け継がれるまち

人と人がつながるいきいきとしたまち

まちづくりの目標

“顔”をもったまちをつくる

“みどり”を感じられるまちをつくる

“にぎわい”を育むまちをつくる

“ひと”にやさしいまちをつくる

市民の“ちから”を活かせるまちをつくる

参加と協働のまちづくり

今回の改定では、見直し検討委員会、まちづくりカフェ、まちづくりサロン、市民アンケート調査、市内中学校アンケートなど、たくさんの市民の方々の意見を伺いながらマスタープランを策定しました。今後も、まちづくりに関する情報を提供し、市民の方々に参加いただきながら、マスタープランの実現に向けて、市民、事業者、市の協働によるまちづくりを推進します。



大切なのはマスタープラン策定後の具体的なまちづくりだと思っています。昨年、一橋学園に出店した雑貨屋には、高齢の方もフラッと来てくださいます。いろいろとお話することで、モノとは違う満足を提供できているようです。このような人と人のつながりによって、一橋学園のまちづくりに貢献したいと思います。



樋口智子さん
小平市都市計画マスタープラン見直し検討委員会 市民公募委員

日頃から、歴史ある自然を維持しながら、地域の特徴に合った便利さをもった、住みよい小平のまちにしたいと思っていましたが、まちづくりカフェに参加して、同じ思いの市民が多いことがわかりました。今後も、地域のボランティア活動などを通じて、人のつながりを大事にすることで、より住みやすいまちにしていきたいと思っています。

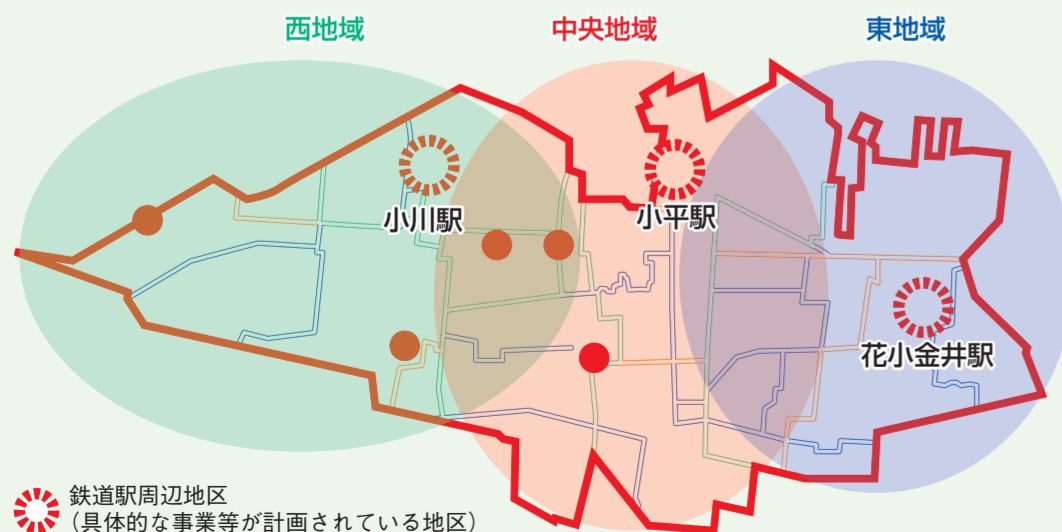


緑川多喜男さん
まちづくりカフェ 参加者

マスタープランの地域別構想

地域区分の考え方

マスタープランでは、西、中央、東の3つの「地域」と、今後、市街地再開発事業などの具体的な事業等が計画されている「鉄道駅周辺地区」（小川駅、小平駅、花小金井駅周辺）のまちづくりの方針を示しています。



西地域のまちづくり方針

- みどりをいかした生活空間の形成
- 民間活力を活かした新たな拠点づくり
- 良好な道路交通ネットワークの形成と沿道のまちづくり
- 学生・店主（事業者）と連携したまちの活性化

鉄道駅周辺地区<小川駅>

- 小川駅西口地区市街地再開発事業の促進
- 小平都市計画道路3・4・10号線の整備推進 など



中央地域のまちづくり方針

- シビックゾーンを有する地域としての拠点性の向上
- 良好なみどりの空間の保全・活用
- ひとが中心の魅力ある都市軸の形成
- 商店街を中心としたまちの活性化

鉄道駅周辺地区<小平駅>

- 小平駅北口地区市街地再開発事業の促進
- 小平都市計画道路3・4・19号線の整備推進 など



東地域のまちづくり方針

- にぎわい拠点としての充実・強化
- 質の高い幹線道路整備と適切な沿道まちづくり
- 駅周辺の一体的なまちづくり
- 良好なみどりの空間の創出

鉄道駅周辺地区<花小金井駅>

- 小平都市計画道路3・3・3号線の整備促進
- 鉄道立体化の実現 など

